日野 多摩 稲城 地区 保護司会だより 第70号

会長就任のごあいさつ

日野・多摩・稲城地区保護司会 会長　**土 方 三 男**

第25回定期総会において会員皆様に承認をいただき、この度当地区保護司会会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。粟井前会長には会運営に強力なリーダシップを発揮して頂き、４年間のご尽力に対し感謝を申し上げます。

さて、保護司会の活動・運営の中心となるサポートセンターが昨年末に日野市教育センター内に移転をし、更生保護サポートセンター日野・多摩・稲城「通称：サポートセンター高幡台」として活動をしています。移転に際し３市から多くのご支援をいただき、改めて感謝を申し上げます。犯罪予防や再犯防止活動になお一層尽力してまいります。幸いコロナ感染状況も落ち着き、５月からは季節性インフルエンザ同様の５類相当となりました。引き続き感染対策に留意しながら従前の活動を取り戻せるようにしてまいります。

一方、保護司の充足に目を向けますと、この先５年で19名の退任が10年先ではさらに20名の退任が予定されており、保護司適任者の確保が喫緊の課題となっています。適任者確保に努力してまいります。皆様の情報提供等、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、我々保護司は非常勤の国家公務員で民間のボランティアです。保護司法により保護観察・生活環境調整等犯罪をした者や非行のある少年の改善更生を助けるとともに、犯罪予防のための啓発活動を行う事、保護司会を組織することが定められています。近年現職で働き、保護司会の活動に参加することが困難になっている保護司が増えていますが、会の活動になかなか参加できない保護司へのご理解をお願いするとともに、活動参加への声掛け等をして頂ければ幸いです。

令和５年度
第25回 定期総会開催

● 期日　４月19日(水)
● 会場　日野市教育センター　講堂

令和５年度の定期総会が開催されました。司会の青木智子副会長より総会成立の報告、物故者への全員黙祷の後、鹿島正二副会長の開会の言葉、粟井洋子会長の挨拶、来賓の紹介と続き、議長に松本ちづ子氏が選任され議事に入りました。議案７件と報告事項すべて異議なく承認・可決されました。

議事終了後に土方三男新会長の挨拶、新役員の紹介。退任された粟井前会長への花束贈呈と退任挨拶が行われました。その後、土公千鶴東京保護観察所立川支部長、大坪冬彦日野市長、阿部裕行多摩市長、稲城市山田弘福祉部長より祝辞を頂き、また日野・多摩・稲城の三市担当職員11名の紹介が行われました。

最後に大須賀良子副会長の言葉により閉会となり、恒例により来賓も含めた全員の集合写真を撮影し、終了致しました。

ご来賓

東京保護観察所 立川支部 支部長	土公　千鶴 様
東京保護観察所 立川支部 主任保護観察官	竹内　研児 様
東京保護観察所 立川支部 保護観察官	田代万由子 様
日野市長	大坪　冬彦 様
多摩市長	阿部　裕行 様
稲城市長代理 稲城市福祉部長	山田　弘 様
多摩地区保護司会連絡協議会会長	小山　茂 様
日野・多摩・稲城地区更生保護女性会会長	関戸　良 様
日野・多摩・稲城地区桐友会 会長	佐伯　進 様

令和5年度　役員（理事）・専門部・分区構成

○役　員（理事：23人）　　令和５年４月１日現在

日野分区(９人)	大須賀良子　土方　三男　水野　京子　谷　和彦　坂井　厚彦　山上　貴久　廣澤　伸幸　出沼恵美子　伊野　直美
多摩分区(８人)	近藤　一美　川井　博之　佐倉　英明　津守　範学　持田　幸子　飯島　文彦　髙木　禎信　熊谷　弘
稲城分区(６人)	角田　政信　髙木　伸二　松浦　昇　唐木　洋子　井上　裕由　粕谷　静男

○顧　問：粟井　洋子　　○会　長：土方　三男　　○副会長：大須賀良子　松浦　昇　川井　博之
○監　事：松原　一郎　青木　智子　　○専門部（会員数：75人）

	総務部 23人	研修部 17人	地活部 18人	広報部 17人
顧　問 会　長 副会長 〃 〃 監　事 〃	粟井　洋子 土方　三男 大須賀良子（日野分区長兼務） 川井　博之（多摩分区長兼務） 松浦　昇（稲城分区長兼務） 松原　一郎 青木　智子		＝社会参加活動担当委員＝ 坂井　厚彦（日野副分区長） 佐倉　英明（多摩副分区長） 角田　政信（稲城副分区長）	
センター長	髙木　伸二			
会会計 〃 会書記	持田　幸子（財　務） 粕谷　静男（出納・交通費） 髙木　禎信			
部　長 副部長 書　記	廣澤　伸幸 津守　範学 山上　貴久	飯島　文彦 水野　京子 熊谷　弘	唐木　洋子 近藤　一美 伊野　直美	出沼恵美子 谷　和彦 井上　裕由
	中村マコト（日野分区書記） 眞木　定義（日野分区会計） 尾又　孝行（多摩分区書記） 遠藤　明子（多摩分区会計） 渡邊　聡（稲城分区書記） 庚塚　克子（稲城分区会計） 大坪　冬彦（日野市長） 阿部　裕行（多摩市長） 髙橋　勝浩（稲城市長）	土方喜久弘　三枝　玲子 荻原　豊子　西川　毅 篠崎　誠一　馬場　房義 山口　慶隆　芝田晴一朗 大塚美千代　降矢　英文 渡邊　信子　伊野　傑 篠崎　真悟　大野　豪祐	芦川　正雄　松本ちづ子 會田　洋子　中村　洋一 石川ちづ子　渡邊　力 渡邊　幸子　福島美由紀 池田　教秀　金子　晃久 関　裕子　加藤　晃章	澤田　研二　土谷　縷美 紀　初子　福島　幹男 鹿島　正二　川島　保之 須崎　勝政　松永　健 川久保和壽　内山　晃次 山田　英二　佐藤　和子 楢崎　喜子　坂野　悦子

○サポートセンター企画調整保護司（10人）

髙木　伸二　唐木　洋子　持田　幸子　廣澤　伸幸　出沼恵美子
粕谷　静男　尾又　孝行　関　裕子　中村マコト　降矢　英文

○社会貢献活動担当保護司（３人）

坂井　厚彦（日野副分区長）　唐木　洋子（地活部長）
佐倉　英明（多摩副分区長）

○分　区

会　員　数	分　区　長	副分区長	書　記	会　計	会計監査
日野分区26人	大須賀良子	坂井　厚彦	中村マコト	眞木　定義	福島　幹男
多摩分区27人	川井　博之	佐倉　英明	尾又　孝行	遠藤　明子	三枝　玲子
稲城分区22人	松浦　昇	角田　政信	渡邊　聡	庚塚　克子	渡邊　力

令和5年度　第73回　社会を明るくする運動

日野分区 分区長　**大須賀 良子**

今年５月８日より、新型コロナウイルスが５類に移行され、マスク着用も自己判断となりましたが、依然としてマスクを外す事には勇気がいる中、昨年同様に気を引き締めての活動となります。市庁舎に懸垂幕の掲揚、公用車の両サイドに、ペンギンマークのマグネット貼り付け、市内小中学校へ‘社会を明るくする運動，作文コンテストへの応募呼びかけ、市内小中学校校門前に社明ののぼり旗設置の依頼、市内中学校２年生を対象とした保護司講師による更生保護に関する出前授業、協力団体への社明リーフレット等の配布。

７月８日［土］、街頭広報活動実施：日野駅、豊田駅、高幡不動駅周辺で、社明リーフレットや社明グッズ、更生保護女性会の手作りペンギンほごちゃんを配りながらの啓発活動、市役所１階市民ホールにて更生保護活動のパネル展示、【広報ひの】７月１日号に掲載

今後とも皆さまのご理解、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

令和４年７月９日　イオンモール前

多摩分区 分区長　**川井 博之**

令和４年７月１日　聖蹟桜ヶ丘駅前

４年振りに、コロナ感染症流行前の街頭啓発活動になります。

まず、５月９日(火)、「社会を明るくする運動」運営委員会を開催し、７月７日(金)16時より、３駅(聖蹟桜ヶ丘駅、多摩センター駅、永山駅)で駅頭啓発活動を実施することになりました。

また、これまでどおり、強化月間期間中は、３駅に横断幕及び市役所に懸垂幕の設置も行います。

さらに、本運動の周知と充実を図るため６月９日(金)には、推進委員会を開き、関係諸団体にご参加とご協力をお願いしました。

今年度も、市内小学校、中学校に社明作文コンテストへの応募を呼びかけ、「社会を明るくする運動」への理解を図ります。特に、中学２年生には、保護司による出前授業も行います。

稲城分区 分区長　**松浦　昇**

犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための第73回社会を明るくする運動を今年度は７月３日（月）に実施します。

駅頭広報を京王よみうりランド・京王稲城・若葉台、JR矢野口・JR稲城長沼・JR南多摩の６駅、又、街頭広報を平尾団地バス停前で実施します。稲城市推進委員会21機関団体及び市内公立中学校の生徒・教職員が参加して行われます。読売巨人軍グランドに於いて７月12日（水）に広報活動、夏祭りや盆踊り等の会場において啓発活動を行います。市内小中学校朝礼時の社明説明会及びリーフレット配布やポスター掲出、市役所庁舎への懸垂幕の掲揚や広報いなぎに掲載します。作文コンテストの協力を市内中学校に依頼し全市をあげて社会を明るくする運動を盛り上げて行きます。

令和４年７月１日　稲城駅前

第72回「社会を明るくする運動」作文コンテスト
東京都推進委員会より優秀作品に選ばれた作文

●東京都保護司会連合会会長賞

明るい社会にするために

多摩市立連光寺小学校　５年２組　山口　佳樹

2022年７月８日。

ぼくたち日本人だけではなく、世界中の人々にとっても、衝撃的で悲しい事件が起こりました。犯人は逮捕されましたが、被害者は亡くなってしまいました。ぼくはこの日からニュースを見るのが怖くなって、あまりテレビを見ていません。

どうしてこんな事が起こるんだろう。罪を犯す人達は、ぼく達と同じように小学校へ行き、中学校にも行ったはず。学校では、人が嫌がる事をしてはいけない・人を傷つける事をしてはいけないと、みんな教わって大人になったはずです。

悪い事をしたら捕まる。単純だし、当たり前の事なのに、それでもこんなに毎日事件を起こす人がいることが、ぼくにはあまり理解できません。

夏休み中、ぼくは犯罪について調べました。日本には、凶悪犯・粗暴犯・窃盗犯・知能犯・風俗犯・その他の刑法犯と大きく分けて６種類の犯罪があります。

罪を犯した人を調べてみると、今回７月８日に事件を起こした犯人のように、育ってきた家庭の中で大きな問題があった人や、育児放棄された人、子供のころから暴力を受けて育った人、食べる物に困るような日々を送った人、周りに頼ることができなかった人など、あまり生活環境に恵まれなかった人が多いように感じました。

考えてみれば、ぼくには両親がいて、毎日ケンカする弟がいて、ちょっと悪ふざけして怒られて、なんだよと思うこともあるけど、ご飯に困った事や、寝る場所に困った事はありません。暑い日は冷房をつけた部屋でゴロゴロして、手伝いやテストを頑張れば好きな物だって買ってもらえます。学校へ行けば、面白くて楽しい先生と、最高の友達がいて、そんな生活を当たり前に感じているから、困っている人がいる事も知らなかったし、ひどい生活環境を想像する事もありませんでした。

もちろん、環境に恵まれなかったからといって、人を傷つけていい理由にはならないと思います。でも、もしかすると地域や社会の中で、困っている人達にもっと気がついていれば、助けてあげられるチャンスがあったのかもしれないな。と思うようになりました。

令和になって、ぼくが暮らす多摩市では「子ども食堂」や「誰でも食堂」といって、食べる物に困っている人に栄養のある食事を提供したり、地域の交流や子供達を見守る活動をする場所が設置されました。

そこではたくさんの人と温かいご飯を同じ空間で食べられたり、勉強の支援をしてくれたり、生活するための講座をしてくれます。一人じゃないんだと思える場所があるのは、すごくいい支援の取り組みだと思います。

今も日本全国のどこかで困っている人や、どうしたらいいか分からなくて、やってはいけない事をしようとしている人がいるかもしれません。犯罪をゼロにする事は正直むずかしいのかなと思います。でも、何かを傷つけたら人生おしまい！にするのではなくて、どうして事件が起きたのか、これからどうしていくことが正解なのかを地域や社会で考える事がとても大切だと感じます。

それと、犯罪者を厳しい目で見るのも大切な事だとは思うけれど、社会復帰をするため立ち直ろうとしている人に、一人でも多くの人が手を差し伸べるような優しい社会になればいいなと思います。

東京保護観察所立川支部長　着 任 の ご 挨 拶

立川支部長　**土公 千鶴**

本年４月１日付けで立川支部長として着任いたしました、土公千鶴と申します。

立川支部での勤務は今回が初めてですが、以前、立川駅近くで生活していたことがありますので、立川支部周辺は私にとって非常に懐かしい場所であり、この地で勤務できることを大変嬉しく思っております。

さて、先日出席させていただいた総会では、とても風情のあるサポートセンターに感銘を受けただけでなく、各市役所の方々の協力を頂きながら、和やかな雰囲気で運営されている会の様子を拝見し、日野・多摩・稲城地区保護司会の存在を非常に頼もしく感じた次第です。コロナ禍においては様々な行動制限を受け、保護司活動においてもかなり御苦労されたことと思いますが、少しずつ活動を復活させ、本領を発揮いただけること、とても楽しみにしております。

支部長としての仕事は初めてで至らぬ点も多いこととと思いますが、皆様に御教示いただきながら、日野・多摩・稲城地区の安全安心に少しでもお役に立てるよう努力してまいりますので、これまでと変わらぬ御支援を賜りますよう、くれぐれもよろしくお願い申し上げます。

東京保護観察所立川支部　新担当保護観察官のご挨拶

主任保護観察官　**竹内 研児**
（日野・多摩地区担当）

本年四月に、さいたま保護観察所から東京保護観察所立川支部に転任し、日野分区・多摩分区の担当をすることになりました竹内と申します。日野・多摩・稲城地区の保護司の皆様どうぞよろしくお願いいたします。

私は同支部での勤務は、実は三度目となります。一度目は、合同庁舎が八王子にあった頃で平成16年から５年間勤務し、最後の年に庁舎が立川市内に移転し、その際の引っ越し要員となりました。二度目は平成26年から４年間勤務し、最後の二年間は日野分区と稲城分区を担当させていただきました。そして、今春の異動により今回が同支部での三度目の勤務となりますが、日野分区は二回目の担当で多摩分区は初めての担当となります。今後の地区保護司会の諸活動では、以前お世話になった保護司の先生方とまたご一緒にお仕事させていただくことをうれしく思います。

今後も保護司の先生方のお力添えをいただきながら、罪を犯した者や非行少年の更生と社会復帰に向けた諸業務に努めて参りたいと思いますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

保護観察官　**田代 万由子**
（稲城地区担当）

本年４月から、稲城分区を担当させていただくことになりました。今年度はどうぞよろしくお願いいたします。

私は、平成30年に法務省に入省し、名古屋保護観察所、保護局を経て、昨年度東京保護観察所立川支部に着任いたしました。保護局では、紫翠苑の全面改築事業を担当していたこともあり、立川支部とのご縁を感じております。

保護観察官としてのキャリアは、今年で４年目となりました。更生保護を志したきっかけを振り返ると、様々な生きづらさを抱えた人たちと社会との「つながり」をつくりたい、という想いがあったことを思い出します。保護司の皆さんと協力しながら、その人の生きる「生活」に寄り添っていけるというのが、更生保護のやりがいの一つであると考えています。まだ経験が浅く、至らない点も多々あるかと思いますが、初心を忘れず処遇にあたっていきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻、ならびにご協力のほどお願い申し上げます。

新センター長 着任のご挨拶

髙木　伸二

令和５年４月から５人の新しい企画調整保護司が指名され、10人体制でスタートしました。相互のコミュニケーションを大事にして、円滑なサポートセンターの運営を担って参ります。

先ずは会議室や面接室のスムーズな利用、ＦＡＸやメールの間違いのない送受信を心がけていきたいと思います。

令和５年度の活動計画では、例年どおり「サポートセンター高幡台だより」を発行します。平成29年に毎月発行するようになって７年目になりました。会員の皆様の活動に役立つ情報発信に努めて参ります。そして、「懇談会」の開催やサポートセンターの活用についても検討したいと考えています。

会員の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

保護司 一言リレー

日野分区　**福島 美由紀**

35歳を過ぎて、お茶を習い始めました。「わび」「さび」も知らないまま飛び込み週１度のお稽古。お稽古は、楽しかった。仕事で疲れた時、癒してくれるお茶の世界。炉の中で炭がパチパチと燃える、お湯はシュンシュンと湯気を上げこれからお薄茶のお点前が始まろうとしている。「甘い甘い和菓子」今日は、どこの和菓子だろうと想像するだけでわくわくしてしまう。蓋を開けると菓子器の中には色とりどりの和菓子。その後、お薄茶をいただくと一日の出来事が洗い流され、ほっとした気持ちにさせてくれるお茶の世界。一期一会のことばのように、すべての人との出会いに感謝していこうと思うようになりました。

今年度の広報部員

〈部長〉出沼恵美子　〈副部長〉谷　和彦　〈書記〉井上裕由
澤田研二　土谷縷美　紀　初子　福島幹男　鹿島正二
川島保之　須崎勝政　松永　健　川久保和壽　内山晃次
山田英二　佐藤和子　楢崎喜子　坂野悦子

新任保護司ご挨拶
ご活躍を期待します

令和５年５月15日委嘱

稲城分区　**菊地（きくち）　聡（さとし）**（研修部）

はじめまして。

菊地聡と申します。よろしくお願いいたします。

生まれは東京都中野区で、現在は稲城に住んでおります。

今回の保護司のお話は、稲城市消防団に所属していた篠崎真悟さんよりお話をいただいた事がきっかけでした。元々、親戚が保護司を行っていたこともあり、知ってはいましたが、まさか自身が携わるとは考えておりませんでした。

普段は精神保健福祉士の資格を活かしながら、障がい者の支援に従事しております。

好きな言葉は「利他の心」です。

諸先輩方にご指導ご鞭撻をいただきながら、保護司として地域に貢献出来れば幸いです。

皆様、何卒宜しくお願い致します！

表紙写真の説明 ― 日野市立 南平体育館 ―

南平体育館は、昭和54年に竣工し、浅川以南のスポーツ拠点として、年間９万人以上の方にご利用いただいてきました。しかし、老朽化が進んでいたことから、建替え工事を実施し、令和４年４月にリニューアルオープンをしました。今後は「スポーツと健康」、「交流」及び「防災」の三要素を基本的な機能とし、地域全体に活気と潤いを生み出す「まちなかアリーナ」として活用を図ってまいります。

編集後記

新メンバーによる初めての保護司会だよりをなんとか発行できました。今号から「保護司一言リレー」のコーナーを設けました。如何だったでしょうか？ご感想をお寄せください。

■サポートセンター高幡台
〒191-0042
日野市程久保550番地
電話 042-593-0950　FAX 042-506-5474
メールアドレス：vpocentormog@true.ocn.ne.jp